

---

### QA13 ホールボディ・カウンタ測定で、何が分かりますか。

---

体内に取り込まれた放射性核種のうち、セシウム 137 やヨウ素 131 等の $\gamma$ （ガンマ）線を放出する核種について、測定した時点での体内に存在する放射性核種の種類がどんなもので量がどれくらいか分かります。ただし、ヨウ素 131 のように半減期が短い放射性核種は、東京電力福島第一原子力発電所事故後の時間経過により減衰してしまった後は検出することができません。また、ストロンチウム 90 は $\gamma$ （ガンマ）線を出しませんので、ホールボディ・カウンタでは測ることはできません。

放射線医学総合研究所では福島県及び国からの依頼により、約 180 人の計画的避難地域等に在住されていた方の内部被ばく検査を行いました。半数の方で内部被ばく線量は検出限界以下の値でした。検出された方についても全ての方が、それまでの被ばく線量から推計される預託線量が生涯で 1 ミリシーベルト未満と推定されました。このことから、将来にわたって健康に影響を与えるような被ばくがあったとは考えにくく、そのリスクはたとえあったとしても極めて小さいと考えられます。

#### 統一的な基礎資料の関連項目

上巻 第 2 章 55 ページ「内部被ばく測定用の機器」

---

出典：放射線医学総合研究所ウェブサイト「放射線被ばくに関する Q&A」より作成

出典の公開日：平成 24 年 4 月 13 日

本資料への収録日：平成 24 年 12 月 25 日

改訂日：平成 27 年 3 月 31 日